

## 令和2年度第1回四万十市子ども・子育て検討会での意見交換内容（報告）

### 1 実施状況

日 時 令和3年1月27日（水） 18:30～19:39  
場 所 市役所 3階会議室  
参加者 14団体23名

### 2 意見交換内容

#### (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画について

令和元年度に策定した計画の内容を説明 【意見特になし】

#### (2) 保育計画第2期の中間見直しについて

・保育計画の記載内容の一部改訂について事務局案を説明

##### 【主な意見】

(アウェイ育児という文言について)

「アウェイ育児」という言葉は、全然聞いたことが無くて知らなかったが、意味を聞くとその通りだと思う。そういう言葉が広がると、該当する人が「自分はアウェイ育児をしている」と伝えることで、同じ境遇の人と繋がるきっかけになるかもしれない。

言葉自体に悪印象や違和感とかはない。この言葉の意味がみんなに分かるように周知してもらいたい。

#### (3) その他

・一時預かり事業の実施について、ニーズがあり検討している。

ファミサポとの相違点などを説明し、意見を頂く。

##### 【主な意見】

①一時預かりは、子育て中の保護者から求める声は多い。ぜひ実施してほしい。ファミサポと違って、顔なじみの子どもを預かるわけではないので保育士の負担は大きいと思う。国の規定（※保育士一人で預かることのできる人数：0歳3人、1歳6人まで）上限までの対応はとても難しいので、人員配置には配慮をしてほしい。

⇒具体的に検討する際には、現場の意見をしっかりと聞いて考える。

②ファミサポは顔なじみになるというメリットはあるが、長時間の預かりには保護者の方も預かる方も不安がある。資格のある保育士さんに預かってもらえる「一時預かり事業」はニーズがある。

③「一時預かり事業」「ファミサポ事業」、どちらも急に預けたいという時には対応してもらえるのか。

⇒「ファミサポ」は、預かる方と完全にペアになるので、相手の都合が開いていれば対応してもらえる可能性は高い。「一時預かり」は、施設

の定員の問題と、その日の職員体制によるが、急な依頼には対応ができない可能性があると考えている。

- ④ 高齢者と同居で育児をしている方は、急に高齢の方のお世話を時間を割かないといけなくなることがある。夜など時間外にも預かってもらえるような対応を検討してもらいたい。

⇒急な預かりのケースでは、現状はファミサポが対応できる手段である。ペアとなっている方の都合さえ良ければ、早朝・夜間でも対応は可能である。

- ⑤ (民間保育園) 以前は一時預かりを実施していた。利用する方は多かったし、今でも問い合わせがあるので、ニーズはあると思う。当時、リフレッシュしたいと言って、子どもを預けてパチンコに行く方がいた。預かるための基準というのは、しっかりと決めておくようにしたら良いと思う。

・その他。

- ⑥ ファミサポの職員と会員さんの信頼関係ができてくると、悩みごとの相談をされるようになってくる。育児に不安を抱えている方が相談したいというニーズも高いと思う。

- ⑦ 知り合いにもSNSに子育て中の不安を書いている人がいる。アウェイではなくても、どう対応したら良いか悩んでいるが、相談する先が分からないという方がいると思う。

⇒子育てに関する相談に対応する窓口については、まだまだ不十分であると認識している。些細なことでも相談できる、相談しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

- ⑧ 夫婦間の信頼関係がなくなっており、虐待まではいかなくても、専門的な機関が対応したほうが良いと思われる家庭があるが、どこに繋がたら良いかわからない。保育所の現場で気が付いた時にはどのように対応しているか。

⇒保育所では、子どもの口から気になるような話があった場合には子育て支援課に報告し、内容に応じて「家庭児童相談室」や「福祉事務所(要対協)」、ケースによっては「児童相談所」に繋ぐようにしている。子どもへの支援だけでなく、家庭への支援が必要なケースもあるので、現場と一緒に取り組んでいる。

⇒子育てに不安のある方や悩みのある方が、どこに相談したらよいか分からないという現状があることは十分理解している。一本化やワンストップ化については、すぐの実施には難しい面もある。対応を行う様々な機関がある中で、情報をつかんだ際には情報を共有し連携して対応していけるように、仕組みづくりをしているところである。ケースごとの相談機関についても情報発信して周知をしていく。